

8 公益社団法人東京都看護協会

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		令和3年度取組実績
領域Ⅰ 働く場における女性の活躍		
⑥ 育児や介護等を理由とする離職者に対する再就職支援		
ア 育児や介護等を理由とする離職者に対する再就職支援		
16	看護職に対する利用者のニーズに応じた再就業支援を実施します。	(1) ナースバンク事業による就業相談、職業紹介の実施 (2) 就職相談会ふれあいナースバンク8回/年の開催 (3) プラチナナース就業継続支援事業におけるプラチナナース対象就職フェア1回/年と就職相談会1回/年の開催 (4) 計画に基づく再就業支援研修の実施
17	(1) 居住地近くの病院で再就業支援研修を実施します。 (2) 離職中の看護職の就業相談を実施します。 ☆(3) 看護職の離職時等の届出制度を促進します。 ☆(4) セカンドキャリア支援事業(定年退職を迎える看護職の就業支援)を実施します。	(1) 復職支援研修として、1日・3日・5日コースの病院体験コースと1日・3日コースの施設体験コースとの就業相談を実施。新型コロナの影響を受け、病院体験コースで63名が参加(うち、31名が就業)、施設体験コースで11名が参加(うち、4名が就業)し、全体の就業率は47%であった。 (2) 再就業支援研修の実施とナースバンク職業紹介事業の連携。バンク係が開催するふれあいナースバンクに、再就業支援研修受講者を年4回誘導して、就業相談の機会を設定。 (3) 看護職の離職時等の届出制度の広報を施設向けに年1回、その他求職者に対して適宜実施。 (4) ナースバンク事業による就業相談件数1,840件/年、職業紹介の実施求人施設への情報提供適宜実施。 (5) COVID-19支援登録者増を目指した取り組みの一環で再就業支援事業を実施し最大5,218人が登録。年間222件のコロナ特化求人に対応した。
⑦ 普及啓発活動の充実		
ア 情報の提供		
18	(1) 協会の各種委員会や総会等で情報伝達をします。 (2) 会報、ホームページ等で情報を提供します。	Face Bookによる情報発信183件、7,827件のメルマガの発信、ホームページ活用、デジタルサイネージ・WEB広告・広報誌等を通して、働く看護職へ情報を発信し、東京都ナースプラザホームページアクセス数は517,653件であった。
領域Ⅱ 女性も男性もいきいきと豊かに暮らせる東京の実現		
1 生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)の実現		
① 働き方の見直し		
ア 働き方の改革		
20	病院巡回訪問 人材確保が困難な病院を訪問し、勤務環境や院内教育体制(新人教育を含む。)構築の支援等を実施します。	アウトリーチ型支援事業 200床未満の13病院の看護管理者の定期的訪問、メール・電話・オンラインを通し看護職の業務改善や働き方への支援を実施
② 男性の家事・育児等への参画		
ア 男性の家事・育児等への参画のための環境づくりの促進		
23	病院巡回訪問 人材確保が困難な病院を訪問し、勤務環境や院内教育体制(新人教育を含む。)構築の支援等を実施します。(再掲 No.20 参照)	アウトリーチ型支援事業 200床未満の13病院の看護管理者の定期的訪問、メール・電話・オンラインを通し看護職の業務改善や働き方への支援を実施

8 公益社団法人東京都看護協会

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		令和3年度取組実績
④介護に対する支援		
イ 介護と仕事の両立が可能な環境づくりの促進		
	<p>地域におけるケアの推進 (1) 訪問看護事業の実施 専門性の高い訪問看護や看護学生・看護職の実習受け入れを実施します。 (2) 病院・訪問看護ステーション・介護福祉施設の連携推進 各施設の連携を図るための交流会、シンポジウム、研修会等を実施します。 (3) 関連団体との連携 地域ケアの充実に向け、行政や医療機関、全国訪問看護ステーション事業協会、日本訪問看護財団等と連携します。 (4) 課題の検討 東京訪問看護ステーション協会、他関連団体との連携による情報共有と課題の検討を行います。</p>	<p>(1) 東京都指定の教育ステーションとして受け入れは継続していく。 (2) 東京都受託事業「訪問看護師確保定着事業」を実施した。 テーマ 「はじめてみよう！訪問看護」 日程 令和3年11月13日(土) 開催方法 オンライン開催 深化・進化する「訪問看護」というテーマで秋山正子氏に講演をいただいた後、4人のシンポジストによるシンポジウムを実施。194人の参加をいただいた。 (3) 東京都と連携し、中小病院、ケア施設の新型コロナウイルスのクラスター発生施設への支援を継続した。</p>
29	<p>介護福祉施設等の看護職の機能強化 (1) 介護福祉施設の看護職の交流やネットワーク作りの支援を実施します。 (2) 研修会等を実施します。</p>	<p>(1)(2) ケア施設の看護管理者研修会、交流会をWebライブで以下のとおり開催した。 ○令和3年10月25日(土) ○令和4年2月12日(土)</p>
	<p>「看護フェスタ」や「まちの保健室」等の開催 「看護フェスタ」や地域等での「まちの保健室」活動、地域や他団体のイベント等へ参加し、健康チェックや、健康・介護相談等を実施します。</p>	<p>看護フェスタは令和3年12月12日にWebライブで開催した。内容は以下の通り。 1 各職能団体からのPR 2 看護学校への進学・看護職就労に関する情報提供 3 看護職からのメッセージ 4 講演会(WEB/LIVE) ①コロナ禍におけるこころの健康 講師 藤澤大介氏(慶応大学病院) ②新型コロナワクチンを知ろう 講師 忽那賢志氏(大阪大学大学院) ウェブ閲覧件数は4568件</p>
3 男女平等参画を推進する社会づくり		
②防災・復興分野への参画促進		
ア 防災における男女平等参画の促進		
36	<p>災害支援ナースの育成 災害支援ナースの育成により、災害時の関連機関との連携による被災住民の健康維持に関する支援活動を実施します。</p>	<p>引き続き災害支援ナース育成のための研修会を実施した。 新型コロナウイルスのに関する施設への支援を実施した。</p>
③教育・学習の充実		
ア 学校での男女平等		
39	<p>「看護の魅力」普及啓発の推進 (1) 広報誌の発行 (2) 中学生・高校生・社会人の一日看護体験の実施 (3) 看護学校への進路相談</p>	<p>(1) ナーシングガイダンスの作成・配布。 (2) 新型コロナ禍においても、臨床における一日看護体験学習を推進。事前に受入協力機関の意向調査を実施し、受入に当たって協力できる方法を検討。規模が小さくとも一日看護体験学習を実施。5月は実施協力施設49参加者で281名、8月は実施協力施設31施設で参加者300名であった。 (3) 看護学校や高校生に進路相談を実施予定。</p>

8 公益社団法人東京都看護協会

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		令和3年度取組実績
イ 多様な学習機会の提供		
44	看護の専門性向上のための教育 (1)各種研修会の実施 (2)必要な情報の提供	(1)新型コロナウイルスの感染状況に応じてオンライン研修を取入れ、200床未満の病院及び施設、離職者対象の無料研修の実施した。 実務実践研修、認定看護管理者教育課程等の研修、ニーズに合った研修をタイムリーに実施する。
⑤ 生涯を通じた男女の健康支援		
ア 母子保健医療体制の整備及び相談等の支援		
47	新しい生命を夫婦で心豊かに迎え、子育てを楽しみ、子供の成長とともに親もまた成長してほしいという願いから以下の事業を実施します。 (1)両親学級 妊娠・出産・育児に関する正しい情報や夫の役割等を分かりやすく伝え、出産、育児に対する不安を軽減します。 (2)すくすくフェスタ ①両親学級に参加した出産後の親子を対象にイベントを開催し、産後の相談・育児相談・ベビーマッサージ・月齢に合ったお遊びなどを実施します。 ②同年代の親同士の仲間づくりを支援します。	感染症対策を講じながら、子育て支援事業を引き続きWebライブで開催した。 (1)プレファミリー講座の開催 12回/年開催し、参加組数は552組。 (2)すくすく広場の開催 4回/年開催し、参加組数は51組
イ 各年代に応じた健康支援及び性教育		
50	都民の健康支援に向けた情報発信等 (1)「まちの保健室」等を利用した、健康チェック、健康相談や必要な情報発信 (2)健康に関する公開講座の開催 (3)ホームページ等での情報発信 (4)出前授業(母性保護等)の実施 (5)子育て支援(両親学級、すくすくフェスタ等)の実施	都民の健康支援に向けた情報発信については、都民健康講座を3回/年開催した ①9月18日「災害の備え」 ②11月20日「自宅でできるヨガ講座」 ③1月29日「全身の健康はお口から」 (4)小学生、中学を対象にいのちの授業を5回実施した。777人の参加 (5)子育て支援事業については47参照
52	(1)出前授業 学校での「命の大切さ」「性感染症予防」の授業や、企業等での「職場における女性保護」に関する普及事業等に直接出向き協力します。 (2)東京エイズ・ピア・エデュケーション ①エイズ・ピア・エデュケーターの育成(10~20代の若者対象) ②エイズ・ピア・エデュケーションの実施(中学・高校・大学・専門学校等に出向き、エデュケーションを実施)	(1)出前授業 学校などからの要望により、小学生、中学等を対象にいのちの授業を5回実施した。777人の参加
推進体制		
ア 都民・事業者における体制		
59	協会の各種委員会等で、男女平等参画に関連する課題について事業内容と共に検討します。	LGBTの理解を深めるため、医療者向けに研修会を開催した。 日程 11月16日(土) テーマ 「性的マイノリティの基礎知識」